

14. 気管支腔内にポリープ状に発生した Inflammatory pseudotumor の 1 手術例

自治医科大学外科学講座呼吸器外科学部門

手塚康裕, 遠藤俊輔, 長谷川剛  
植野美英, 佐藤幸夫, 大谷真一  
手塚憲志, 蘇原泰則

症例は 62 歳男性。検診で胸部 X 線異常陰影を指摘され近医受診。胸部 CT にて右 S<sup>3</sup> 領域肺門部付近に 3.0 cm 大の腫瘍陰影を認め、当院紹介。気管支鏡検査にて、右 B<sup>3</sup> 入口部に凝血塊を伴った、ポリープ状の隆起性病変を認めたが、確定診断には至らなかった。原発性肺癌を疑い、右肺上葉切除術を施行した。術中迅速診断にて inflammatory pseudotumor と診断された。気管支腔内にポリープ状に増殖する inflammatory pseudotumor の切除例について、文献的考察を含め報告する。